

新天地 充実の日々

県外から「あおり留学」の3高校4人

三戸高校

千葉さん(千葉県)
高村さん(名古屋)



自身がデザイン考えたポスターの前で笑顔を見せる千葉さん(左)と野球部立ち上げに意欲を見せる高村さん(三戸高校)

県教育委員会が三戸、名久井農業、柏木農業、睦々沢、大間の各県立高校で始めた全国募集制度「あおり留学」。本年度は第1期生として、三戸、名久井農業、柏木農業の3校に4道県から4人の男子生徒が入学し「新天地・あおり」で生活を送っている。4人はこの半年間、どう成長したのか。「(農業実習は)同じものが新鮮。母はここ(地域)に馴染みない」と、寛容を取れるだけ遊んで視野を広げたい。4人はそれぞれの未来を描き、自立しながら豊かな高校生活を送っている。(奥谷部知子)

三戸高校(三戸市)豊田 2人は同じ下宿先で農業実習。武部校長(三戸市)は「千葉さん、高村さん(千葉県)は、高村さん(名古屋)の2人が入学した千葉さんは、休日に同町の祖父(母)に毎週電話が通じる卒業生と、育った。町職員に国語の勉強がある。一方、高村さんは「全く新しい場所。いろいろなことに挑戦したい。ドローン操縦の資格があり、母が高校時代を過ごした場所を学びたい。地元

野球部つくり1勝を／先生との距離が近い

三戸高校は公立高校で、第2学年(高二)の千葉さんと高村さんが入学した。千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。

千葉さんは「この半年でコミュニケーション能力が上がった。自分の気持ちや意見を伝えることができた。言葉が通じないという状況はなかった。ホームシックもなかった。ホームシックもなかった」と口をそろえた。